

2000年10月25日

報道関係各位

エスエス製薬株式会社  
ノバルティスファーマ株式会社  
同仁医薬化工株式会社

経皮鎮痛消炎剤（テープ剤）  
ジクロフェナクナトリウム テープ」に関する契約締結について

2000年10月、ノバルティスファーマ株式会社（社長：通筋雅弘）、エスエス製薬株式会社（社長：泰道直方）、同仁医薬化工株式会社（社長：数土武夫）の3社は、エスエス製薬（株）と同仁医薬化工（株）が開発を予定している経皮鎮痛消炎剤（テープ剤）「ジクロフェナクナトリウム テープ」について、製造承認取得後に共同販売を行うことで合意致しました。

なお、3社による提携は、ジクロフェナクナトリウムの徐放性製剤（ボルタレン<sup>®</sup>SR カプセル/ナポール<sup>®</sup>SR カプセル）、ゲル剤（ボルタレン<sup>®</sup>ゲル/ナポール<sup>®</sup>ゲル）に次いで3回目となります。

今回の契約により、本製剤が製品化された場合、ジクロフェナクナトリウム テープは、

販売：ノバルティスファーマ（製造：同仁医薬化工）

販売：エスエス製薬（製造：エスエス製薬）

の2ブランド2チャネルで販売されることとなります。

ジクロフェナクナトリウムは、1965年にスイスのノバルティスファーマ社で開発されたフェニル酢酸系の非ステロイド性鎮痛消炎剤で、世界的な標準薬として位置付けられており、現在、約140ヶ国で処方されています。

日本では、経口剤（普通錠・徐放性製剤）と坐剤、さらに本年4月にはゲル剤が発売されています。

すでに医療の現場で高い評価を得ている、ジクロフェナクナトリウム製剤にテープ剤がラインアップされることにより、局所性の痛みや炎症の治療に新たな選択肢が加わることとなります。ゲル剤に続くテープ剤の上市により、患者さんの症状や、疼痛部位による使い分けがより一層可能となるものと期待されています。

なお、ジクロフェナクナトリウム テープは、比較的表在性の痛みや炎症を伴う疾患（症状）の鎮痛・消炎に対して有用性が期待されています。

<日本でのジクロフェナクナトリウム製剤の歴史>

1974年 錠剤（経口）発売

1982年 坐剤発売

1990年 徐放性製剤（経口）発売

2000年 ゲル剤発売

以上

本件に関するお問い合わせ先		
エスエス製薬株式会社	広報室	栗田
中央区日本橋浜町2丁目12番4号		TEL: 03-3663-9352
ノバルティスファーマ株式会社 広報グループ 喜多		
港区西麻布4丁目17番30号		TEL: 03-3797-8027